



オタマジャクシ(♯)を使わない大正琴・杉友流 (さんゆうりゅう)



村田英雄さんの歌った『人生劇場』等、古賀政男さんの作品で耳にしたことのある、あの懐かしい音色…。大正琴は、その名の通り大正時代にタイプライターにヒントを得て日本で発明され、家庭用に普及した楽器です。左手の指でピアノのように鍵盤を押し、右手でギターのように弦をはじきます。鍵盤には数字がふってあり、譜面の数字を追って順に鍵盤を押していけば、すぐにメロディーが弾けてしまうので、音符が読めなくても大丈夫。麻雀やパソコンと同じく、指を動かしたり、指先に刺激が与えられるなどの点から、高齢者の心身の健康維持や認知症予防に良いと言われています。

私は、この大正琴を高齢者の元気づくり活動に取り入れ、東京都杉並区にある社会福祉法人の地域福祉推進事業担当として、高齢者施設の大正琴クラブの支援や、地域の高齢者を対象とした大正琴教室の運営をおこなってまいりました。この活動をさらに楽しく拡げていくために、2014年12月に大正琴杉友流(さんゆうりゅう)を創設しました。このたび社会福祉法人を退職し、地元・港南台にて『シニアと子どもの音楽サロン・ナマズの孫』を開店することといたしました。大正琴教室を中心に、音符(オタマジャクシ)を使わずに、初心者でも参加できる音楽サロンです。高齢者の介護予防や元気・生きがいがづくりが求められている今、ぜひ『ナマズの孫』を覗いてみてください。

大正琴杉友流・総師範 金子穂純

大正琴杉友流が目指すもの

大正琴を弾くこと、聴くこと、歌を歌うことを通じて、

- ①高齢者の元気と意欲をつくります。
- ②人と人のふれあいをつくります。
- ③地域のつながりをつくります。



大正琴杉友流の特色

①楽しく弾く遊び心を大切に

各コースでは、それぞれの参加者の上達レベルに応じた練習指導をいたします。ただし、上手く弾けるようになることを目標にするのではなく、楽しく弾く遊び心を何よりも大切にします。初心者・経験者、上手・下手にかかわらず、また大正琴を弾けずとも、音楽が好きな方なら誰もが参加できる場にします。

②弾き方は自由、初めての人でも弾けます

生徒さんのほとんどは高齢者になってから大正琴に初めて触れる方。耳が遠い人も、目が見えにくい人も、軽い認知症を患っている方もいらっしゃると思われます。他流派のように基礎訓練からコツコツやるのではなく、簡単な曲を弾いてみて、弾けた喜び、楽しさを感じていただくことから始めます。『日の丸の旗』『七夕さま』『きらきら星』…。初めての方でも、その日のうちに弾けるようになっているはずです。楽器の構え方も、左手の鍵盤の指使いも、右手で弦をはじく方法も決まった形にはしません。楽譜も市販のものは使わず、極力簡素な表記とし、生徒さんからのリクエストに応じて手作りで作成・配布します。

③楽器の調整・購入支援

大正琴はお貸しします（持ち込みも可能です）。調弦、弦の張り替え、修理、また楽器の購入についてもお手伝いいたします。

④活動の発表・発信

日頃の練習の成果をお仲間と一緒に演奏し披露する機会を定期的につくります。各コース参加者が一堂に会しての合同演奏会（STO＝杉友流大正琴オーケストラ）も開催する予定です。また、インターネットを使って活動の様子を配信しますので、遠く離れたご家族へのお元気報告にも使えますよ！



2014年に東京都杉並区のデイサービスで開催した合同演奏会